

# 日本認知科学会第 25 回大会のお知らせ

日程：2008 年 9 月 5 日（金）～9 月 7 日（日）

場所：同志社大学京田辺校地

大会ホームページ：<http://www.jcss.gr.jp/meetings/JCSS2008/>

主催：日本認知科学会

共催：同志社大学文化情報学部

8:40	受付	9:00	□頭セッション 〈身体・インタラクション〉	9:00	□頭セッション 〈視覚・聴覚・音声〉
9:30	9:20 開会挨拶	10:30	ポスターセッション (2)	10:30	ポスターセッション (4)
	□頭セッション 〈言語〉	12:00	昼休み	12:00	昼休み
11:00	ポスターセッション (1)	13:00	総会	13:30	ポスターセッション (5)
12:30	昼休み	13:30	□頭セッション 〈学習〉	15:00	招待講演 板倉昭二氏
14:00	招待講演 カ丸裕氏	15:00	ポスターセッション (3)	16:30	ワークショップ 「『概念変化』と 学習研究」
15:30	□頭セッション 〈思考・知識〉	16:30	招待講演 笹岡隆甫氏	18:00	懇親会
17:30	ワークショップ 「創作、鑑賞の 理論」	18:00			
19:30					



- P1-8 単語・非単語の認知メカニズム - 日本語 3 モーラ単語・非単語からの検討-  
木戸口英樹・齊藤智
- P1-9 登場人物の行動を予測する際の挿絵内の視覚情報の影響  
前原由喜夫・龍輪飛鳥
- P1-10 社会的問題解決場面における不公平感と視点の影響  
阿部慶賀
- P1-11 手本との類似を利用した観点の発見支援  
森田純哉・永井由佳里
- P1-12 連想概念ネットワークに基づく質的分析の試行  
周豊・永井由佳里・森田純哉
- P1-13 検索抑制現象と記憶高進現象の同時生起可能性の検討  
~~林美都子・村上典子・高井順子・関根一貴~~ (発表辞退)
- P1-14 エージェントの外見から推定されるエージェントの機能：情報系・社会科学系を専攻する大学生への質問紙調査  
小松孝徳・南部美砂子
- P1-15 「医学用語」語彙学習における描画と Moodle を使った協調学習  
名本田恵理子 (日時変更)
- P1-16 文末詞「の」が記憶に与える影響：関係性構築の観点から  
伊東昌子
- P1-17 同時多発会話を構築する演出家のスキル  
後安美紀・深谷拓吾・辻田勝吉
- P1-18 Simon 課題におけるタスクスイッチと競合適応の認知制御の関係  
小川昭利・入來篤史
- P1-19 高齢者の日常生活における注意・認知特性と機器利用  
南部美砂子・岩岸千夏
- P1-20 創造活動における説明の効果に関する実験的検討  
神崎奈奈・三輪和久
- P1-21 学校図書館における「調べ学習」の有効性を探る  
浅野真紀子 (日時変更)
- P1-22 基本介護技術習得の学習過程～導入時の授業デザイン  
武田啓子
- P1-23 散文理解における教示と web 上の内容討議による類推への促進効果に関する基礎実験 (II)  
光田基郎
- P1-24 知の構造化を探求する  
福永征夫

P1-25 洞察問題解決における潜在認知とメタ認知の相互作用：9点問題の場合  
服部雅史・柴田有里子

■ 12:30 – 14:00 昼休み

( 編集委員会を開催します )

■ 14:00 – 15:30 招待講演

カ丸裕氏 ( 同志社大学生命医科学部 知覚・認知脳神経機構研究室教授 )

■ 15:30 – 17:30 口頭セッション 〈思考・知識〉

O2-1 血液がん患者の治療リスク認知のステージ変化-治療リスク楽観性とは何か-

平原憲道・山岸侯彦

O2-2 予期しない現象の原因同定に影響する要因の検討

柴田恭志・寺井仁・三輪和久

O2-3 帰納的推論モデルが明らかにする状況と人格の相互作用

坂本佳陽・中川正宣

O2-4 思考の言語化が洞察問題解決に及ぼす影響の検討 - 言語化の方向づけに着目して -

清河幸子・桐原菜里子

O2-5 人間の適応的プランニング過程のモデルベースの解析～人は動的環境に対応しているのか～

佐藤敦史・石川悟・大森隆司・山内康一郎・栗原正仁

■ 17:30 – 19:30 ワークショップ (1)

W1

創作、鑑賞の理論

企画者：三宅芳雄 ( 中京大学 )

- 9:00 – 10:30      口頭セッション〈身体・インタラクシオン〉
  - O3-1      身体とモノの認知プロセスの違い  
            東松裕道・藤波努(発表辞退)
  - O3-2      文の音韻処理で運動表象は活性化するか？  
            粟津俊二・鈴木明夫
  - O3-3      対話での視覚情報共有：カメラ画像の共有は対話を支援するか  
            原田悦子・須藤智・新井田統
  - O3-4      「友人」間の情報伝播ネットワークとイノベーション・アイデアの発生  
            鷲田祐一・植田一博
  
- 10:30 – 12:00      ポスターセッション(2)
  - P2-1      日本人の掛け算九九の実行プロセスについての実験的検討  
            伊藤祐康・久保(川合)南海子・正高信男
  - P2-2      行為の修復過程としてのマイクロスリップ  
            廣瀬直哉
  - P2-3      TVコマーシャルにおける懐かしさ感情の生起要因  
            楠見孝・松田憲・杉森絵里子
  - P2-4      デザイン実験アプローチを用いたオンライン日本語講座の開発  
            松本剛次
  - P2-5      再認記憶における単語熟知度と文脈変動性の効果-Remember/Know 手  
            続きを用いた検討-  
            山田真悠子
  - P2-6      人間とエージェントが混在する状況におけるコミュニケーションの心理特  
            性  
            林勇吾・三輪和久
  - P2-7      情動連合記憶が広告評価に及ぼす長期的効果  
            松田憲・杉森絵里子・楠見孝
  - P2-8      運動に埋め込まれた構造-けんだま遊び「ふりけん」のこつ-  
            伊藤万利子・三嶋博之・佐々木正人
  - P2-9      概念地図による協調活動初期段階の支援  
            遠山紗矢香・三宅なほみ
  - P2-10      比喩文の親しみやすさと解釈多様性の構造  
            平知宏・楠見孝

- P2-11 コーパスに基づく感性と論理のネットワーク表現  
村井源・松本斉子・往住彰文
- P2-12 発話間の時間構造が対話の文脈性の認知に与える影響  
高柳侑華・竹内勇剛
- P2-13 サンプリング音源を利用した初心者の楽曲創出における音楽経験の影響  
鈴木悠資・大島律子・大島純
- P2-14 モノの仕組みの理解における作図活動の有効性の検討  
沖田栄里・大島純・大島律子
- P2-15 単語の分節化と認知過程に関する教師なし学習モデル  
牧岡省吾
- P2-16 依頼者との関係が「断り」言語表現の使用に与える影響  
三輪彩子・池田進一・中本敬子
- P2-17 天気図把握に関わる諸要因  
今井章・北野旦浩
- P2-18 小説における文間の論理的関係  
藤田米春・西島恵介
- P2-19 チャット対話における発言間インターバルと発言内容の関連性の分析  
小倉加奈代・楠見孝(発表辞退)
- P2-20 聴覚性のプライミングに及ぼす単語親密度と保持時間の影響  
村尾真佳・佐々木康成
- P2-21 色選択過程に基づくカラーパレット手法の提案  
稲葉利江子・近藤智嗣・杉本裕二
- P2-22 事態認知による時間語彙・空間語彙分類の再考  
寺崎知之
- P2-23 助詞「の」が要素間の関連付け処理に与える影響  
安永大地
- P2-24 組織成員間の熟知度と高次信念分布との関係  
野口洋・小森政嗣
- P2-25 ビジネスゲーム実践における学習者の行動分析  
越山修・吉川厚・寺野隆雄

■ 12:00 – 13:00 昼休み

(運営委員会を開催します)

■ 13:00 – 13:30 総会

■ 13:30 – 15:00 口頭セッション〈学習〉

- O4-1 乳児は自己の行動を調整するため、何を見ているのか？  
松中玲子・ 関一夫
- O4-2 部分名称獲得を促す範囲特定の指示動作  
安田哲也・ 小林春美
- O4-3 業務遂行能力に着目した職業人教育の評価  
山本雅基・ 齋藤洋典
- O4-4 自然物体の“種類”に固有な新奇語の汎用  
日高昇平・ Smith Linda

■ 15:00 – 16:30 ポスターセッション (3)

- P3-1 課題の志向性の違いによる情報探索行動の比較  
齋藤ひとみ・ 寺井仁・ 高久雅生・ 江草由佳・ 三輪眞木子・  
神門 典子
- P3-2 第二言語の処理が再認に与える影響  
温文・ 高野陽太郎
- P3-3 基準率錯誤における基準率の大きさと尤度の代表性  
西田豊・ 服部雅史
- P3-4 音象徴(sound symbolism)に関する一考察  
平田佐智子
- P3-5 「無意味つづり」はどのくらい無意味なのか？ - 「日本語らしさ」の評定  
による分析  
田中吉史・ 前田千浩
- P3-6 朝食場面の記憶をローカス概念により記述する一試み  
志井田孝・ 渡辺めぐみ
- P3-7 協調的ライティング学習支援環境 CORE による推敲支援  
宮原詩織・ 野澤亜伊子・ 三宅なほみ・ 尾関智恵
- P3-8 日本語予備教育における協調活動による語彙の意味理解のための例文作成  
活動の実践  
大河原尚
- P3-9 アクセントパターンの誤りの検出における統語的制約と言語作動記憶容量  
個体差の関わり  
時本真吾
- P3-10 認識的必然性と知識の性質  
松井理直

- P3-11 建物はどのように変容するのか？貼り紙に着目したソーシャルカスタマイゼーションの時系列分析  
新垣紀子・野島久雄
- P3-12 フォントのタイプフェイスが単語識別に与える影響の一考察  
田中邦佳・川崎貴子・鹿子嶋由佳
- P3-13 視線の同時性とロボットの発話の強制力  
田口雅彦・石井健太郎・今井倫太
- P3-14 非ゼロ和ゲームにおける人の相手認識と行動選択の関係 -封筒交換実験を例に-  
加藤慧・大橋資紀・伊藤昭・寺田和憲
- P3-15 プロジェクトの意思決定におけるメタ認知の役割  
伊藤衡
- P3-16 建設現場におけるヒューマンエラー—労働災害事例に対する認知的乖離—  
中島正人・松井俊浩（発表辞退）
- P3-17 先行和音系列によって惹き起こされる期待に関する検討  
中川裕貴・柳田益造・津崎実
- P3-18 五感の動詞の意味拡張—感覚モダリティによる身体性と脱身体化の観点から  
高嶋由布子
- P3-19 集団作業における言語・非言語行動の分析: リーダーの発現に関する一考察  
鈴木紀子・馬田一郎・神谷俊郎・伊藤禎宣・岩澤昭一郎・井ノ上直己・鳥山朋二・小暮潔
- P3-20 発話行為タグ作成のための格フレーム辞書の利用  
野澤元・河原大輔・横森大輔・黒田航
- P3-21 他者運動の結果がミラーシステムの活動に与える影響  
阿部良輔・嶋田総太郎
- P3-22 映像のストーリーと制約緩和の可能性  
金井明人・櫻井誠・山田太地
- P3-23 学習方略としての分散効果の有効利用  
田中孝治・加藤隆
- P3-24 看護教育における遊びのデザインを通じた創造性の育成  
石井成郎・柴邦代・磯部尚美
- P3-25 「医学用語」語彙学習における描画とM o o d l eを使った協調学習の試み  
名木田恵理子

■ 16:30 – 18:00 招待講演

笹岡隆甫氏 ( 未生流笹岡 次期家元 )

■ 18:00 – 20:00 懇親会

---

2008 年 9 月 7 日 ( 日 )

---

■ 9:00 – 10:30 口頭セッション 〈視覚・聴覚・音声〉

O5-1 視聴覚情報の非同期と視聴覚統合：洋画の吹き替えにあまり違和感を覚えないのはなぜか？

望月要・大西仁

O5-2 日本人英語話者の英語ストレスとシュワーの音韻表象と音声語彙認識におけるそれらの使用について

杉浦香織

O5-3 振動装置による盲ろう者のコミュニケーション支援

南部美砂子・岡本明・三好茂樹・坂尻正次

O5-4 ボール探し課題における運動図形の一時停止・速度・軌跡が心的帰属に及ぼす効果

龍輪飛鳥・子安増生

■ 10:30 – 12:00 ポスターセッション (4)

P4-1 物語の伝達とその再生におけるジェスチャーの役割：ジェスチャー産出の制限と遅延聴覚フィードバックの効果

齋藤洋典・加納研司・井藤寛志・大井京

P4-2 日常場面における高齢者の携帯電話使用の学習：8 週間継続型ユーザビリティテストから見た他者からの学習支援

森健治・原田悦子

P4-3 確率加重関数の起源：二重過程理論・言語統計的アプローチからの分析

中村國則

P4-4 4・5 歳児の語る能力の発達：6 歳までに何ができるようになるのか。幼児の作成した絵本資料からの分析

白井純子・富貴田智子・白井英俊

- P4-5 発話シーンの共有信念に基づく推定とその評価  
木村優志・作元佑輔・田口亮・桂田浩一・岩橋直人・新田恒雄
- P4-6 因果判断における共変情報の2つの処理プロセス  
服部郁子
- P4-7 「参照点構造」再考  
高木勇
- P4-8 言語化が難しい情報はジェスチャーによって処理されるのか—距離推定への言語化とジェスチャーの影響—  
武長龍樹
- P4-9 全称量化表現の文理解過程 - Incremental-DRT モデルの実証的検討 -  
井上雅勝・蔵藤健雄・松井理直・大谷朗・宮田高志
- P4-10 視線運動による画像認識プロセスの解析  
前田雄佐・大澤幸生
- P4-11 心理臨床面接における対話者の身体動作 ( 1 )  
長岡千賀・前田恭兵・小森政嗣
- P4-12 心理臨床面接における対話者の身体動作 ( 2 )  
小森政嗣・長岡千賀・鎌田遼平
- P4-13 ブランドネームが商品の内容理解およびイメージに与える影響  
石川潔・川崎貴子・吉岡広敬
- P4-14 時間的構造に着目した対話ダイナミクスの検討  
山田祐士・竹内勇剛
- P4-15 科学コミュニケーションにおける「コミュニケーション」の分析枠組み  
高橋秀明・三輪眞木子
- P4-16 サルの手も自分の手のように感じるか? : ヒトおよびサルの手の心的回転  
川合伸幸・森村成樹・久保(川合)南海子
- P4-17 小学校教科書の文章を対象とした日本語文の格解析システムの開発  
奥村泰章・白井英俊
- P4-18 教師の授業改善力獲得を目指した大学院コースの実践と評価 - 授業観察と分析の繰り返しによるグループ学習法に関する知識統合過程の分析 -  
益川弘如・村山功・石上靖芳
- P4-19 問題解決において目標を意識することの効果 - 洞察問題を用いた検討 -  
小島一晃・伊藤健・松居辰則
- P4-20 幼児の語の意味の獲得における推論バイアスと語彙コーパスの役割  
松村圭祐
- P4-21 ゲーム型教材におけるオープンな学習者モデル適用の試み  
庄司裕子・山川宏・市瀬龍太郎・三浦麻子
- P4-22 弾性はいかに知覚されるか?  
大西仁・林大作・中村直人・望月要

- P4-23 調停学習用論争エージェントの性格特性の変化が学習者に及ぼす影響  
鈴木聡・前田憲生・田中貴紘・上田堂弘・片上大輔・新田 克己
- P4-24 2段階からなる比喩理解の計算モデルの構築  
寺井あすか・中川正宣 (日時変更)
- P4-25 引用と Logophoricity - 日本語における括弧の機能について -  
山森良枝

■ 12:00 – 13:30

昼休み

■ 13:30 – 15:00

ポスターセッション (5)

- P5-1 時系列データを用いた洞察問題解決過程の分析  
和嶋雄一郎・中川正宣
- P5-2 アイスホッケーにおけるメタ認知の導入 - メタ認知方法論の検討 -  
山田雅之・諏訪正樹
- P5-3 前置詞 over, under の非空間的用法に関する一考察  
太田ふみ野
- P5-4 『アンダルシアの犬』と「わかりにくさ」  
堀光一・金井明人・小玉愛実・小野史織
- P5-5 事実とテキスト  
森田均
- P5-6 高次認知機能を伴う創造的認知過程の可視技法  
中村潤・大澤幸生
- P5-7 行動データの自動解析に基づく照明空間の評価  
森津智行・森田純哉・永井由佳里
- P5-8 手書き文字と活字の認識の差に関する fMRI 研究  
中村太戯留・田中茂樹・田丸恵理子・上林憲行
- P5-9 Gestures as effective teaching tools: Are students getting the point?  
- A study in pointing gesture in the English as a Second Language  
classroom -  
Paul Rumme・齋藤洋典・井藤寛志・大井京・Alberto Lepe・  
加納研司
- P5-10 連想関係図を用いた思考プロセスの視覚化  
佐藤圭一・森田純哉・永井由佳里
- P5-11 算数の混み具合比較課題の解法理解に対する 2 つの解法の説明課題の効果  
河崎美保
- P5-12 三次元仮想空間における日本語位相的空間表現理解に関わる要因の検討

- 小島隆次・楠見孝
- P5-13 身体的メタ認知の3つのフェーズ：身体と言葉を繋ぐプロセス  
諏訪正樹
- P5-14 話し合いのプロセスを評価する際の諸問題の検討 - グループディスカッションの「対立」場面の分析を通じて -  
水上悦雄・森本郁代・鈴木佳奈・大塚裕子・柏岡秀紀
- P5-15 ホームランを数える助数詞「本」と「発」の認知言語学的考察  
鈴木一平・濱野寛子・横森大輔
- P5-16 芸術作品制作過程を振り返る授業において、上級生が受講生をサポートする授業デザイン  
中村太郎・宮田義郎
- P5-17 関係節付加曖昧構文の処理への語順の影響  
中野陽子
- P5-18 タスク制約下におけるリーチング軌道の冗長性  
松本一輝・伊藤精英
- P5-19 物語内容と物語世界  
中嶋美由紀・小方孝
- P5-20 感動するいい話とは？ - 携帯メールという制約条件下での検討 -  
戸梶亜紀彦
- P5-21 日本語の用語法に見る日本人の<被害>の概念化: 語彙分析からオントロジーへ  
黒田航・仲本康一郎
- P5-22 携帯メールコミュニケーションにおける送信者の感情伝達に関する方略の分類  
加藤由樹・加藤尚吾・佐藤弘毅
- P5-23 感情が喚起したコミュニケーションにおける ICT 選択：感情方略と性差に注目した分析  
加藤尚吾・加藤由樹・佐藤弘毅
- P5-24 遠隔インタラクションにおける 3D 映像の効果について  
馬田一郎・鈴木紀子・安藤広志・井ノ上直己
- P5-25 学校図書館における「調べ学習」の有効性を探る  
浅野真紀子
- P5-26 2 段階からなる比喩理解の計算モデルの構築  
寺井あすか・中川正宣

■ 15:00 – 16:30 招待講演

板倉昭二氏 ( 京都大学文学研究科 心理学教室准教授 )

■ 16:30 – 18:30 ワークショップ (2)

W2

「概念変化」と学習研究：認知の基礎過程を考え直す

企画者：三宅なほみ ( 中京大学 )